

令和6年度 第2回 下野市地域自立支援協議会

下野市障がい児者相談支援センター 活動報告

1. 障がい福祉セミナー「共生社会の実現に向けて～障害者差別解消法とは～」

【日 時】令和6年7月19日（金）13:30～15:00

【場 所】市庁舎303・304会議室

【参加者数】39名（うち市職員26名）

4月から障害者差別解消法が改正され、事業者の合理的配慮が義務化されたことから、普及啓発を目的に実施。

栃木県社会福祉士会会長・松永千恵子先生を講師にお迎えし、法律の基本的事項について分かりやすく説明をしていただいた。また、適宜グループワークをはさみ、合理的配慮や不当な差別的取扱いについて意見交換をした。



参加者からは「建設的対話を大切にしていきたい」「前例がないからと拒否しないようにしたい」という感想があった。また「実際に差別的な扱いを受けないと見えてこない部分があるのではないか」という気づきを得られた、という感想もあった。

2. 相談支援事業者連絡会

【日時等】

令和6年5月15日（水）15:00～16:30／市庁舎302会議室／12名参加

令和6年7月17日（水）15:00～16:30／市庁舎302会議室／11名参加

【内容】

- ◆新規障がい福祉サービス事業所等の情報共有
- ◆介護保険への「移行のてびき」
- ◆センターによる事業所訪問の結果共有
- ◆業務上で様々な事業所と関わる中で、課題だと感じること
- ◆計画書の記載事項について

等

3. 精神保健福祉家族会

【日 時】令和6年7月12日（火）13:30～15:10

【場 所】市庁舎201会議室

【参加者数】7名

参加者が減少傾向だったため、案内の送付先を増やしたところ、新規5名を含む7名の参加があった。

自己紹介から始め、それぞれの状況を報告。初対面の方が多かったが、本人への対応の仕方や考え方について悩んでいると話があると、「うちも同じような感じです」と同意をしたり、経験をふまえて具体的なアドバイスをするなど、活発な意見交換がなされていた。

4. 受理ケース・地域課題検討会議で把握された地域課題（4月～7月）

① 資質向上

◆職員の支援技術や体制、設備面が十分でないと感じられる事業所がある。

② 連携

◆ソーシャルワーカーがいない精神科クリニックに通院している場合、制度の案内が不十分だったり、センターに相談が来てもクリニックとの連携が取りづらい場合がある。

⇒近隣のクリニックにセンターのPRをしてはどうか。

③ 孤独死

◆持ち家で独居、親族とも疎遠の障がい者が亡くなったあと、ライフラインや家の始末をする人がいない。

◆孤独死の予防が必要。

④ あったらいいな

◆中途視覚障がい者が白杖を購入した際に、使い方の講習案内を病院や業者からする。

◆事業所に所属していなくても、障がい者が作成した作品の展示や販売の機会がある。

◆家族のレスパイト先や避難場所。

⑤ その他

◆新型コロナの影響で、強迫症状がひどくなったと思われるケースがある。

5. 新規オープン等の近隣事業所情報

新規事業所

種別	添付	名称	所在地	開所	備考
グループホーム		ルアナハウス鹿沼	鹿沼市 上殿町	R6年7月	日中サービス支援型。
就労A 就労B		J・BASE (ジェイ・ベース)	宇都宮市 今泉町	R6年4月	身体障がいの当事者が代表をつとめる。
就労B	○	色えんぴつ	小山市 栗宮	R6年7月	自動ドア等のメンテナンスの作業補助あり。
児童発達		てらびあぽけっと 壬生駅前教室	壬生町 中央町	R6年8月	

その他

種別	添付	名称	所在地	備考
児童発達 放デイ		fuwari～ふわり～	下野市 石橋	児童発達支援の片道送迎開始。
就労A		ベストファームなかま	上三川町 坂上	R6年9月からB型に変更。
地活	○	ゆうがお	下野市 石橋	ピアサポーター「ピア部」のチラシ完成。